

令和7年度 江戸川区立一之江第二学校 人権教育 年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認めることを中心とした指導			
各教科・読書科	国語 「力を合わせてばらばらに」必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉え、自分の考えをもつことができる。	国語 「白いぼうし」 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。	国語 「一つの花」 ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の変化や移り変わりや結び付けて具体的に想像することができる。	保健体育 「育ちゆく体とわたし」 健康な生活及び体の発育、発達について理解し、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	国語 「あなただけ、どう言う」 ・考えとそれを支える理由との関係について理解することができる。 ・目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。	国語 「たんごつね」 ・言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	国語 「未来につなぐ工芸品」 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。	国語 「風船でうちゅうへ」 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。	国語 「心が動いたことを言葉に」 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。		
	理科「季節と生き物」 生物を愛護する態度を育て、動物の活動や植物の成長と環境のかわりについて見方や考え方をもちつづける。			読書科「本のポップや帯を作ろう」 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。		選科 「季節と生き物」 生命の連続性について考えることができる。					
特別の教科 道徳	友情・信頼、助け合い 友達どうしがお互いを理解し、信頼して、助け合おうとする気持ちを育てる。	思いやり・親切 お年寄りや困っている人に対する思いやりの気持ちを、積極的に伝えようとする心を育てる。	自然愛・動植物愛護 自然のすばらしさにふれ、自然や、動植物を大切にしようとする気持ちを育てる。	思いやり・親切 相手の気持ちを思いやり、親切にしようとする心情を培う。	友情・信頼、助け合い 友だちと励まし合い、助け合って、友情を深めていこうとする心情を育てる。	豊国心 外国の人々やその文化に関心をもつだけでなく、自分の国の伝統や文化を大事にすることに気づき、自らの国を大事にしようと思ふ心情を育てる。	友情・信頼、助け合い 友だちの気持ちや立場を理解し、助け合っていこうとする心情を育てる。	思いやり・親切 相手の立場や気持ちを理解して、進んで親切にしようとする心情を育てる。【子供】	生命尊重 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。	個性伸長 自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を育てる。	個性伸長 友達の良い所悪い所を教え合うことにより、だれにでも長所や短所があり、じぶんの特徴を知って長所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。
総合的な学習の時間		「人にやさしい町づくり」① インターネットや書籍でバリアフリーやユニバーサルデザインについて調べたり、出前ボランティア体験をしたりすることを通して、町の中には、障害者やお年寄りにとって便利な施設や設備があることに気づかせる。【障害者】			「人にやさしい町づくり」② 自分たちの町の施設や設備を調べたり調べること、その設備や施設がなぜ必要なのかを考え、町には自分たちだけでなく、いろいろな立場の人が住んでいることに気づき、人を思いやる心情を育てる。町に住むみんなが、暮らしやすくなるためにはどうすればいいかを考え、互いに助け合って共に生きていく心構えや態度を育てる。【障害者】				「二分の一人式をしよう」 自分の成長を振り返り本にまわっていく中で、たくさんの人々と関わり愛情をもって育てられたことを知り、自分も友達もかけがえのない大事な存在であることを認識し、将来に夢や希望をもち、自他を大切にしようとする心構えや態度を育てる。		
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。								6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。		
その他	保護者会 個人面談 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。		いち・にの・くれよん（保護者ボランティア）による読み聞かせ			個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。		道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。		保護者相談日	保護者会

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。